

北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成21年7月24日

(2) 調査対象期間 平成21年4月～6月期実績および平成21年7月～9月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業		30社	22社	73.3%
建設業		30社	28社	93.3%
卸売業		30社	26社	86.7%
小売業		35社	24社	68.6%
サービス業		25社	16社	64.0%
合計		150社	116社	77.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成21年度第I四半期<4月～6月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」14.6、「悪化企業」55.2、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△40.6となっています。このD・I値を、前年同期（△48.3）と比較してみると7.7ポイントの回復傾向を示しています。また前期調査<20年度第IV四半期>との比較でも、前回△54.6→今回△40.6と14.0ポイントの好転傾向を示しました。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△45.5、建設業D・I値△50.0、卸売業D・I値△26.9、小売業D・I値△37.4、サービス業D・I値△43.8となっており、前年同期調査と比較すると製造業が2.7ポイントの悪化傾向を示しているものの、卸売業は1.1、建設業は1.9、サービス業は17.2、特に小売業は22.6ポイントと大幅な好転傾向を示しています。また、前期調査との比較では、製造業を除く全業種で回復傾向を示しています。

さらに、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」9.5%「悪化企業」61.2%でD・I値△51.7と、前年同期見通し（△54.9）に比べ3.2ポイント回復傾向を示しているものの悪化企業値もまだ高く、予断を許さない来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生産高

前年比で「増加企業」22.7%、「減少企業」54.6%、D・I値△31.9と前年同期に比べ15.8ポイントの回復傾向を示しています。前期調査との比較では1.4ポイントの悪化傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」9.1%、「悪化企業」54.5%、D・I値△45.4と、前年同期に比べ2.3ポイントの回復傾向を示しています。前期調査との比較でも9.1ポイントの回復傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△50.1、生産高D・I値△41.0、資金繰りD・I値△45.5と、前年同期に比べ業況がほぼ横ばいで推移しているのを除き、回復傾向を示しています。

2) 建 設 業

完成工事高

前年比で「増加企業」14.3%、「減少企業」57.1%、D・I値△42.8と前年同期に比べ12.8ポイントの好転傾向を示しました。また、前期調査との比較でも12.8ポイントの好転傾向となっています。

採 算

前年比で「好転企業」3.6%、「悪化企業」71.4%、D・I値△67.8と前年同期に比べて1.4ポイントの好転を示しています。なお、前期調査との比較では17.8ポイントの悪化傾向となっています。

来期見通し

業況D・I値△78.6、完成工事高D・I値△57.1、資金繰りD・I値△59.3と前年同期と比べ完成工事高を除くD・I値が若干の好転傾向を示しています。

3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」23.1%、「減少企業」42.3%、D・I値△19.2と前年同期と比べ2.6ポイントの悪化傾向を示しています。前期調査との比較では27.0ポイントの回復傾向を示しています。

採算

前期比で「好転企業」23.0%、「悪化企業」38.5%、D・I値△15.5と前年同期に比べ4.5ポイント改善傾向を示しています。また、前期調査との比較でも11.4ポイントと好転傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△38.5、売上高D・I値△34.6、資金繰りD・I値△23.0と、前年同期と比べ全て悪化傾向を示しています。

4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」12.5%「減少企業」50.0%、D・I値△37.5と前年同期に比べ14.5ポイント回復傾向を示しました。また、前期調査との比較では11.4ポイント悪化の傾向を示しています。

採算

前年比で「好転企業」8.4%「悪化企業」58.3%、D・I値△49.9と前年同期に比べ10.1ポイントの好転傾向を示しました。また、前期調査との比較では9.0ポイントの悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I値△29.1、売上高D・I値△37.4、資金繰りD・I値△43.5と前年同期と比べ全てのD・I値が好転傾向を示し、特に業況では21.0ポイントと大幅な好転傾向となりました。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」12.5%、「減少企業」62.5%、D・I値△50.0と前年同期に比べ0.1ポイント悪化とほぼ横ばいで推移しています。前期調査との比較では27.7ポイントの好転となりました。

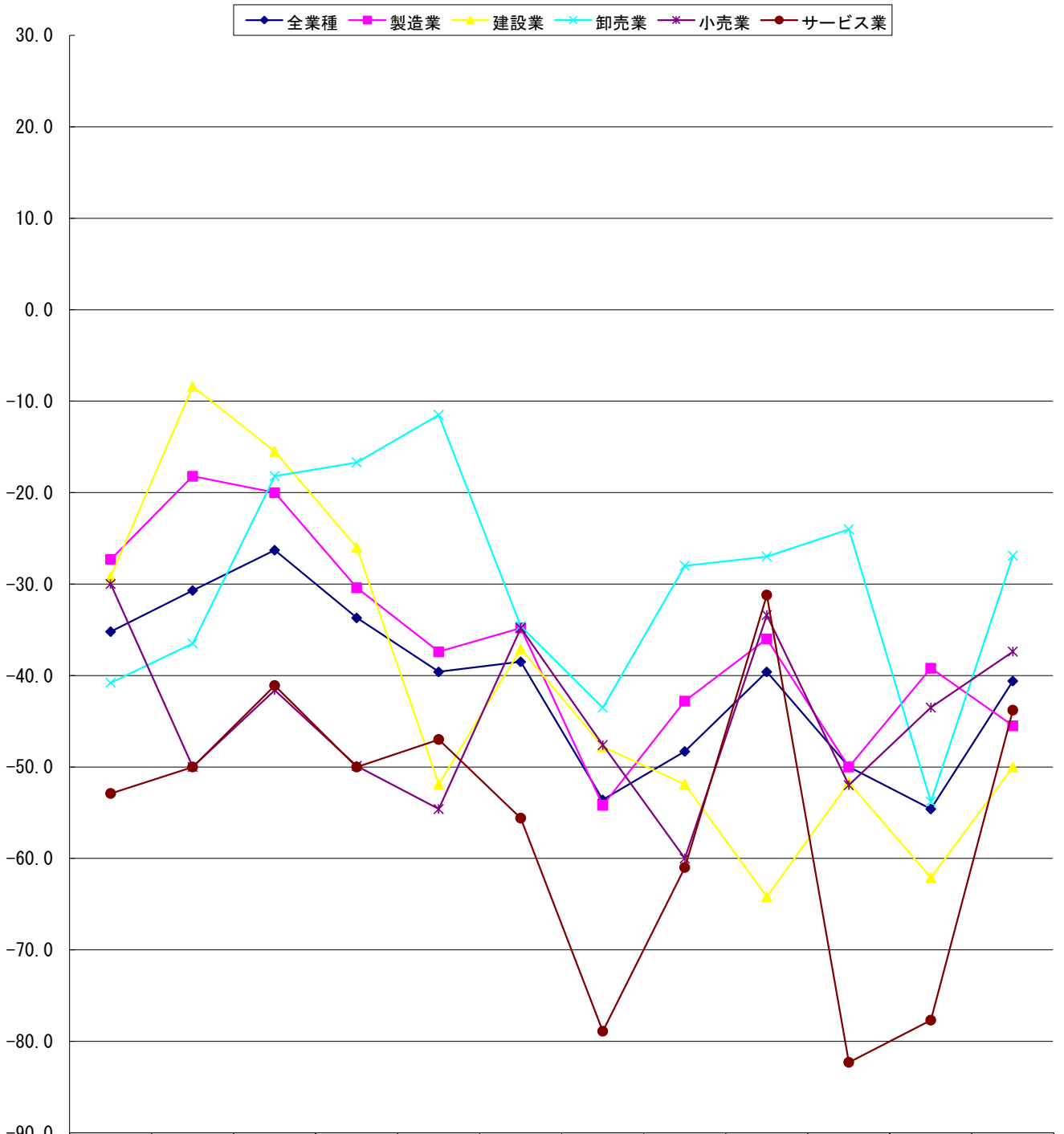
採算

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」50.0%、D・I値△37.5と前年同期に比べ33.0ポイントの大幅な好転傾向を示しました。前期調査との比較でも27.2ポイントの好転傾向となっています。

来期見通し

業況D・I値△62.6、売上高D・I値△62.6、資金繰りD・I値△50.0と、前年同期に比べ業況のみ回復傾向にあるものの、売上高は悪化、資金繰りは横ばいで推移しています。

業況（前年同期比）



	18.7~9 18年度 II	18.10~12 18年度 III	19.1~3 18年度 IV	19.4~6 19年度 I	19.7~9 19年度 II	19.10~12 19年度 III	20.1~3 19年度 IV	20.4~6 20年度 I	20.7~9 20年度 II	20.10~12 20年度 III	21.1~3 20年度 IV	21.4~6 21年度 I
◆ 全業種	-35.2	-30.7	-26.3	-33.7	-39.6	-38.5	-53.6	-48.3	-39.6	-50.0	-54.6	-40.6
■ 製造業	-27.3	-18.2	-20.0	-30.4	-37.4	-34.8	-54.2	-42.8	-36.0	-50.0	-39.2	-45.5
▲ 建設業	-29.2	-8.4	-15.5	-26.0	-51.9	-37.1	-47.8	-51.9	-64.2	-51.7	-62.1	-50.0
✕ 卸売業	-40.8	-36.5	-18.2	-16.7	-11.5	-34.6	-43.5	-28.0	-27.0	-24.0	-53.8	-26.9
✱ 小売業	-30.0	-50.0	-41.6	-49.9	-54.6	-34.8	-47.6	-60.0	-33.4	-52.0	-43.5	-37.4
● サービス業	-52.9	-50.0	-41.1	-50.0	-47.0	-55.6	-78.9	-61.0	-31.2	-82.3	-77.7	-43.8

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	売掛金回収難
建 設 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	そ の 他	人 材 不 足
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	売掛金回収難	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	売掛金回収難	人 件 費 増
サービス業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	売掛金回収難
合 計	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	売掛金回収難	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○ 前年同期と比較すると全体的に「得意先減少」、「売掛金回収難」、サンプル数では「人件費増」が増加し、「諸経費増」、「同業者間の競合」は減少となっている。建設業の「その他」は利益率の減少、物件の減少等となっている。

また、前期調査との比較では「諸経費増」、「売掛金回収難」が増加、「人件費増」「得意先減少」、「同業者間の競合」「資金調達困難」が減少している。

なお、記載項目の中で特に「諸経費増」については前年同期に比べ、建設業以外の業種で減少している。また今回「得意先減少」が増加しており、業種では建設業、卸売業者が特に多く回答している。

※その他及び具体的な問題点の記載事項

(製造) ○得意先からの値下げ依頼 (機械)

(建設) ○受注の減少 (土木)

○元請競争の激化 (板金)

○安値受注業者による単価減少 (板金)

(卸売) ○同業者間の競合により仕入れ価格の上昇分を販売価格に転嫁できない。(農業資材)

業 況

重複回答を特記すると、製造業は菓子製造（2社）が好転。建設業は建築（6社）、土木（6社）が悪化。サービス業は、ビジネスホテル業界（3社）の悪化が続いている他、飲食業（2社）が悪化。

製造業 ⇒ 好転（菓子、印刷、製材加工取付、建材）

悪化（製材）

建設業 ⇒ 好転（重複回答なし 電気、板金、）

悪化（建築土木、土木管工事、塗装、板金、内線工事、設計、電気）

卸売業 ⇒ 好転（重複回答なし 青果、建材、食料品、医療品）

悪化（重複回答なし 衣料品）

小売業 ⇒ 好転（重複回答なし 自動車）

悪化（重複回答なし 食料品、灯油）

サービス業 ⇒ 好転（重複回答なし ホテル（宴会）、IT）

悪化（ホテル（宿泊）、飲食、理美容、レンタカー）